



2022年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）



2021年8月6日

上場取引所 東

上場会社名 T P R株式会社

コード番号 6463 URL <https://www.tpr.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼COO (氏名) 矢野 和美

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 小島 亮治 TEL 03-5293-2811

四半期報告書提出予定日 2021年8月6日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第1四半期の連結業績 (2021年4月1日～2021年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	40,292	35.7	3,539	ー	4,342	660.1	2,057	650.8
2021年3月期第1四半期	29,701	△32.3	△83	ー	571	△83.0	274	△86.8

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 7,731百万円 (ー%) 2021年3月期第1四半期 △2,274百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	59.68	ー
2021年3月期第1四半期	7.72	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第1四半期	246,957	149,349	48.9	3,503.53
2021年3月期	244,059	143,139	47.6	3,370.96

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 120,827百万円 2021年3月期 116,232百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	ー	21.00	ー	23.00	44.00
2022年3月期	ー	ー	ー	ー	ー
2022年3月期 (予想)	ー	29.00	ー	29.00	58.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2022年3月期の連結業績予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	158,900	4.5	11,700	18.2	14,300	1.1	6,700	22.6	194.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、添付資料P. 8 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（注）詳細は、添付資料P. 8 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期1Q	36,100,099株	2021年3月期	36,100,099株
② 期末自己株式数	2022年3月期1Q	1,612,714株	2021年3月期	1,619,714株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期1Q	34,484,177株	2021年3月期1Q	35,496,865株

（注）期末自己株式数については、株式給付信託（BBT）が保有する当社株式（2022年3月期1Q 76,200株、2021年3月期 83,300株）を含めております。また、期中平均株式数の計算において控除する自己株式については、株式給付信託（BBT）が保有する当社株式（2022年3月期1Q 78,086株、2021年3月期1Q 83,477株）を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間を取り巻く経営環境は、国内は、新型コロナウイルス感染症（以下、コロナ）の感染者数が高止まりする中での緊急事態宣言発令・延長を受け、個人消費が下押し圧力を受ける一方で、好調な輸出が下支えする形で、緩やかな回復基調が見られました。

海外は、コロナの影響で地域ごとに明暗が分かれる展開となり、米国や中国は堅調に推移しましたが、アジアの一部地域や欧州は変異株の拡大を受けての防疫措置の強化から停滞気味となりました。

当社グループが主として関連する自動車業界におきましては、国内は、前年同期比では回復するも、半導体不足が影を落とす形となり、海外は、中国、アジアの一部地域が好調に推移する一方で、米国および欧州は半導体不足やコロナの影響等で弱含み、という展開となりました。

こうした経営環境のもと、当第1四半期連結会計期間（2021年4-6月）は、自動車販売台数の回復基調と、原価低減活動や合理化の推進といった経営努力の継続遂行が奏功し、売上高、各利益ともに前年同期比で改善し、増収増益となりました。

当第1四半期連結累計期間の業績数値につきましては、次のとおりであります。

売上高	402億92百万円（前年同期比 35.7%増）
営業利益	35億39百万円（前年同期は83百万円の営業損失）
経常利益	43億42百万円（前年同期比 660.1%増）
親会社株主に帰属する四半期純利益	20億57百万円（前年同期比 650.8%増）

なお、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、当第1四半期連結累計期間の売上高は6億39百万円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ97百万円減少しております。詳細については、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご参照ください。

セグメントの業績概況は、次のとおりであります。

<TPRグループ（除くファルテックグループ）>

①日本

日本は、売上高は114億67百万円で、前年同期に比べて38億74百万円の増収となりました。セグメント利益は6億35百万円で、前年同期に比べて14億36百万円の増益となりました。

②アジア

アジア地域は、売上高は86億78百万円で、中国を筆頭に生産台数が回復、前年同期に比べて27億84百万円の増収となりました。セグメント利益は19億40百万円で、前年同期に比べて8億80百万円の増益となりました。

③北米

北米地域は、売上高は28億81百万円で、前年同期に比べて1億97百万円の減収となりました。セグメント利益は2億1百万円で、前年同期に比べて16百万円の減益となりました。

④その他地域

その他地域は、売上高は5億15百万円で、前年同期に比べて53百万円の減収となりました。セグメント利益は1億3百万円で、前年同期に比べて25百万円の減益となりました。

<ファルテックグループ>

売上高は167億50百万円で、自動車販売台数の回復を受け、前年同期に比べて41億84百万円の増収となりました。セグメント利益は効率化、合理化経営が奏功し、5億95百万円の黒字を計上、前年同期に比べて17億3百万円の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

① 総資産

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して28億97百万円増加し、2,469億57百万円となりました。これは主に有形固定資産が15億25百万円、現金及び預金が12億90百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

② 負債

負債は、前連結会計年度末と比較して33億13百万円減少し、976億7百万円となりました。これは主にその他の流動負債が14億55百万円、長期借入金が12億81百万円それぞれ増加した一方、短期借入金が63億78百万円減少したこと等によるものであります。

③ 純資産

純資産は、前連結会計年度末と比較して62億10百万円増加し、1,493億49百万円となりました。これは主に為替換算調整勘定が33億30百万円、非支配株主持分が16億15百万円、利益剰余金が13億40百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2021年5月14日の「2021年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	42,370	43,661
受取手形及び売掛金	47,266	44,621
商品及び製品	10,577	11,771
仕掛品	4,386	4,908
原材料及び貯蔵品	7,729	7,532
その他	5,103	4,949
貸倒引当金	△89	△89
流動資産合計	117,344	117,355
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	23,429	23,715
機械装置及び運搬具(純額)	27,685	27,286
その他(純額)	19,279	20,918
有形固定資産合計	70,394	71,919
無形固定資産		
のれん	311	266
その他	1,862	1,904
無形固定資産合計	2,174	2,170
投資その他の資産		
投資有価証券	29,888	29,774
退職給付に係る資産	7,675	7,614
その他	16,728	18,246
貸倒引当金	△145	△125
投資その他の資産合計	54,147	55,510
固定資産合計	126,715	129,601
資産合計	244,059	246,957

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,477	16,580
電子記録債務	7,367	7,830
短期借入金	28,938	22,559
未払法人税等	1,294	1,170
賞与引当金	2,347	2,361
その他	12,180	13,635
流動負債合計	68,605	64,138
固定負債		
長期借入金	13,807	15,088
退職給付に係る負債	5,481	5,456
引当金	1,087	1,059
資産除去債務	176	176
その他	11,763	11,687
固定負債合計	32,314	33,468
負債合計	100,920	97,607
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,758	4,758
資本剰余金	4,209	4,209
利益剰余金	97,089	98,430
自己株式	△2,735	△2,710
株主資本合計	103,322	104,688
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,939	13,874
為替換算調整勘定	△2,508	821
退職給付に係る調整累計額	1,478	1,443
その他の包括利益累計額合計	12,909	16,139
新株予約権	147	147
非支配株主持分	26,759	28,374
純資産合計	143,139	149,349
負債純資産合計	244,059	246,957

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
売上高	29,701	40,292
売上原価	24,266	30,540
売上総利益	5,434	9,752
販売費及び一般管理費	5,517	6,212
営業利益又は営業損失(△)	△83	3,539
営業外収益		
受取利息	107	39
受取配当金	91	123
持分法による投資利益	265	591
為替差益	4	—
その他	302	152
営業外収益合計	770	906
営業外費用		
支払利息	71	59
為替差損	—	18
その他	44	25
営業外費用合計	116	103
経常利益	571	4,342
特別利益		
固定資産売却益	—	12
特別利益合計	—	12
特別損失		
固定資産除却損	18	22
投資有価証券評価損	—	200
工場休止損失	68	—
その他	—	7
特別損失合計	86	230
税金等調整前四半期純利益	484	4,124
法人税等	50	1,110
四半期純利益	433	3,013
非支配株主に帰属する四半期純利益	159	955
親会社株主に帰属する四半期純利益	274	2,057

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	433	3,013
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	387	△66
繰延ヘッジ損益	0	—
為替換算調整勘定	△2,740	3,961
退職給付に係る調整額	110	△52
持分法適用会社に対する持分相当額	△465	876
その他の包括利益合計	△2,708	4,718
四半期包括利益	△2,274	7,731
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,755	5,287
非支配株主に係る四半期包括利益	△518	2,444

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、一部の連結子会社において、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

収益認識会計基準等の適用による主な変更点は以下のとおりです。

有償受給取引について、従来は受給元への販売額に原材料等の受給額を含めた金額で収益を認識しておりましたが、受給品を売り戻す義務を負っている場合、原材料等の受給額を除いた金額で収益を認識する方法に変更しております。また、代理人取引について、従来は総額で収益を認識しておりましたが、顧客への財又はサービスの提供における役割が代理人に該当する取引については、純額で収益を認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は639百万円、売上原価は530百万円、販売費及び一般管理費は10百万円それぞれ減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ97百万円減少しております。また、利益剰余金の当期首残高は77百万円増加しております。

なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計
	T P R グループ (除くファルテックグループ)					ファルテック グループ	
	日本	アジア	北米	その他地域 (注)	計		
売上高							
外部顧客への売上高	7,592	5,894	3,078	568	17,134	12,566	29,701
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,444	972	19	14	2,449	0	2,449
計	9,036	6,866	3,098	583	19,584	12,566	32,151
セグメント利益又は損失 (△)	△801	1,059	217	129	605	△1,108	△503

(注) 「その他地域」の区分は、欧州及び南米の現地法人の事業活動であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△503
セグメント間取引消去	28
未実現利益の調整額	391
四半期連結損益計算書の営業損失	△83

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計
	T P Rグループ(除くファルテックグループ)					ファルテック グループ	
	日本	アジア	北米	その他地域 (注)	計		
売上高							
外部顧客への売上高	11,467	8,678	2,881	515	23,542	16,750	40,292
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,071	948	5	14	3,039	3	3,042
計	13,538	9,627	2,886	529	26,581	16,753	43,335
セグメント利益	635	1,940	201	103	2,880	595	3,475

(注) 「その他地域」の区分は、欧州及び南米の現地法人の事業活動であります。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(会計方針の変更)に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の測定方法を同様に變更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の「日本」の売上高は230百万円減少、セグメント利益は97百万円減少し、「ファルテックグループ」の売上高は408百万円減少、セグメント利益の影響はありません。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,475
セグメント間取引消去	32
未実現利益の調整額	31
四半期連結損益計算書の営業利益	3,539

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

1. 連結業績：累計

(単位：億円)

	2020年1Q	2021年1Q	増減額	増減率
売上高	297	403	106	36%
営業利益	△ 1	35	36	-
経常利益	6	43	37	660%
親会社純利益	3	21	18	651%

為替レート (USD/円)	109.23	106.24
為替レート (人民元/円)	15.56	16.32

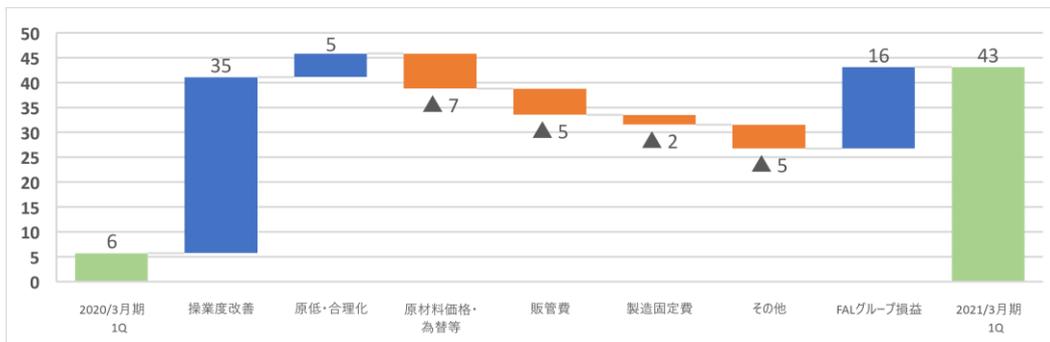
2. セグメント状況

(単位：百万円)

		2020年1Q	2021年1Q	増減額	増減率
売上高	日本	7,592	11,467	3,874	51%
	アジア	5,894	8,678	2,784	47%
	北米	3,078	2,881	△ 197	-6%
	その他	568	515	△ 53	-9%
	TPRグループ計	17,135	23,542	6,408	37%
	ファルテックグループ	12,566	16,750	4,184	33%
	連結	29,701	40,292	10,591	36%

営業利益	日本	△ 801	635	1,436	-
	アジア	1,059	1,940	880	83%
	北米	217	201	△ 16	-7%
	その他	129	103	△ 25	-19%
	TPRグループ計	605	2,879	2,274	376%
	ファルテックグループ	△ 1,108	595	1,703	-
	消去等	420	65	△ 355	-
	連結	△ 83	3,539	3,622	-

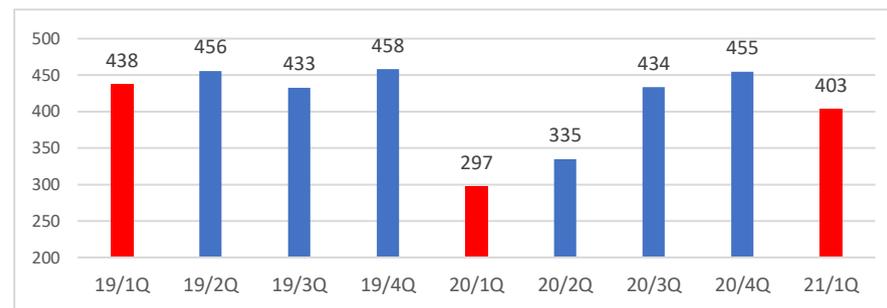
3. 経常利益増減要因 (2020年1Q → 2021年1Q期：億円)



4. 連結業績：四半期実績推移

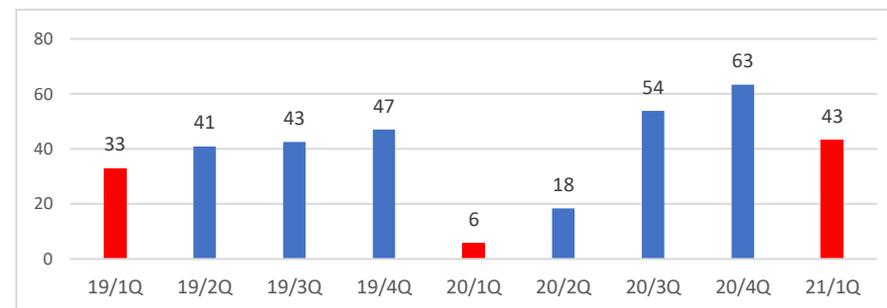
(単位：億円)

	2019				2020				2021
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
売上高	438	456	433	458	297	335	434	455	403



(単位：億円)

	2019				2020				2021
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
経常利益	33	41	43	47	6	18	54	63	43



5. 2022年3月期 通期業績予想

(単位：億円)

	2022年3月期 通期予想	2021年3月期 実績	前年比
売上高	1,589	1,520	105%
営業利益	117	99	118%
経常利益	143	141	101%
親会社純利益	67	55	122%

	2022年度3月期	2021年3月期
1株当たり配当金	年間58円	年間44円